
中央大学大学院 過去問題集

商学研究科

2025 年度入試

一般入試

外国人留学生入試

社会人特別入試

行動する知性。



商学研究科 博士前期課程・博士後期課程

○印の科目を掲載しています。出題していない場合は掲載しておりません。
なお、著作物からの引用箇所は、著作権の関係から非公開としております。

年度別 掲載順	研究科	専攻	課程	科目名	入試方式	2025 年度	ページ
1	商学	商学	博士前期	経営学	一般入学試験（秋季）	○	1
2	商学	商学	博士前期	経営学	外国人留学生入学試験		
3	商学	商学	博士前期	経営学	一般入学試験（春季）	○	
4	商学	商学	博士前期	会計学	一般入学試験（秋季）	○	3
5	商学	商学	博士前期	会計学	外国人留学生入学試験		
6	商学	商学	博士前期	会計学	一般入学試験（春季）	○	
7	商学	商学	博士前期	商業学	一般入学試験（秋季）	○	5
8	商学	商学	博士前期	商業学	外国人留学生入学試験		
9	商学	商学	博士前期	商業学	一般入学試験（春季）	○	
10	商学	商学	博士前期	経済学A（マルクス経済学）	一般入学試験（秋季）		
11	商学	商学	博士前期	経済学A（マルクス経済学）	外国人留学生入学試験		
12	商学	商学	博士前期	経済学A（マルクス経済学）	一般入学試験（春季）		
13	商学	商学	博士前期	経済学B（近代経済学）	一般入学試験（秋季）		
14	商学	商学	博士前期	経済学B（近代経済学）	外国人留学生入学試験		
15	商学	商学	博士前期	経済学B（近代経済学）	一般入学試験（春季）	○	9
16	商学	商学	博士前期	金融論	一般入学試験（秋季）	○	10
17	商学	商学	博士前期	金融論	外国人留学生入学試験		
18	商学	商学	博士前期	金融論	一般入学試験（春季）		
19	商学	商学	博士前期	小論文	社会人特別入学試験		
20	商学	商学	博士後期	英語	一般入学試験		
21	商学	商学	博士後期	英語	外国人留学生入学試験	○	11
22	商学	商学	博士後期	小論文	社会人特別入学試験	○	13

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
商学	商学	博士前期

科目名
経営学

一般入試・外国人留学生入試(秋季)

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

次の4問から2問を選択し、それぞれ別の解答用紙に解答しなさい。問題番号欄には必ず選択した問題番号を記入すること。

問1 経営学における研究方法としての、「演繹的方法」、「機能的方法」、「グラウンデッド・セオリー法」を対比して説明しなさい。なお文中に、かならず以下の用語を用い、用いた部分に下線を引くこと。

【仮説、モデル、統計分析、事例分析、アーカイバル・データ、アンケート調査、インタビュー、定量的分析、定性的分析】

問2 組織における人間の行動が「経済的な合理性」だけでは十分に説明がつかないという点に着目した経営学理論について、複数取り上げ対比しなさい。なお文中に、かならず以下の用語を用い、用いた部分に下線を引くこと。

【満足化原理、正当性(legitimacy)、社会的埋め込み】

問3 地球環境問題に対して経営学はいかに関わっていくべきか、諸君の意見を述べなさい。

問4 マーケティングとは何か、自らの定義を示した後、その発生について説明しなさい。

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
商学	商学	博士前期

科目名
経営学

一般入学試験(春季)

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

以下の4題から2題を選択し、解答しなさい。

解答する問題の番号を問題番号欄に記入すること。

I 以下の4つの経営理論を統合して、VUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity) 環境における企業の持続的競争優位性を構築するための理論モデルを提案しなさい。具体的な企業事例を引用して論じなさい。

- ・リソース・ベースド・ビュー (RBV)
- ・ダイナミック・ケイバビリティ理論
- ・取引費用理論
- ・エンベデッドネス理論

条件：提案には数値モデルや図表を使用してもよい。

II ソーシャルキャピタル理論を用いて、競争環境が激しい業界において企業が持続的に成長するためのネットワーク戦略を設計しなさい。以下の点に触れること：

- ・ネットワーク密度とイノベーションの関係
- ・他社との競争と協調のバランス

III 過去30年間に日本の雇用慣行は大きく変わった。その変化について説明した後、同期間に他の先進国と比べて日本の賃金上昇率が際立って低かったこととの関連について論じなさい。

IV 日本の企業システムの特徴の1つであるジャストインタイム・システムについて説明し、日本の物流業が現在抱えている課題とその解決策を論じなさい。

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程	科目名
商学	商学	博士前期	会計学

一般入試・外国人留学生入試(秋季)

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

下記の財務会計領域、管理会計領域のどちらか一つを選択し、その領域の問題をすべて(2問)解答しなさい。解答する問題ごとに別々の解答用紙を使用し、問題番号欄に解答する問題番号を明記すること。

※財務会計領域を選択した場合は問1と問2、管理会計領域を選択した場合は問3と問4に答えること。

【財務会計領域】

問1. 企業会計原則の一般原則に関して、次の各問に答えなさい。

- (1) 保守主義の原則とはどのようなものか、説明しなさい。
- (2) 単一性の原則とはどのようなものか、説明しなさい。

問2. 棚卸資産の払出数量の決定方法に関して、次の各問に答えなさい。

- (1) 棚卸計算法について、①意義、②長所、③短所、を述べなさい。
- (2) 継続記録法について、①意義、②長所、③短所、④短所を補う方法、を述べなさい。

【管理会計領域】

問3. 損益分岐点分析に関して、次の各問に答えなさい。

- (1) 準変動費と準固定費についてそれぞれ説明しなさい(具体的例も示すこと)。
- (2) 固定分解の代表的な方法として費目別精査法(勘定科目法)と回帰分析による統計的手法が挙げられる。それぞれの方法について特徴を説明しなさい(長所と短所を明確にすること)。

問4. 原価企画に関して、次の各問に答えなさい。

- (1) 「原価を作り込む」という表現が用いられることが多い。この言葉について、「目標利益」「市場価格」「成行原価」「Value Engineering」(あるいは「VE」)という4つの単語をすべて用いて説明しなさい(用いた箇所に下線を引きなさい)。
- (2) コスト発生曲線とコスト決定曲線について説明しなさい。

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程	科目名
商学	商学	博士前期	会計学

一般入学試験(春季)

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

下記の財務会計領域、管理会計領域のどちらか一つを選択し、その領域の問題をすべて(2問)解答しなさい。解答する問題ごとに別々の解答用紙を使用し、問題番号欄に解答する問題番号を明記すること。

※財務会計領域を選択した場合は問1と問2、管理会計領域を選択した場合は問3と問4に答えること。

【財務会計領域】

問1. 棚卸資産の払出単価の決定方法について、次の各問に答えなさい。

- (1) 個別法について、①意義を述べるとともに、②どのような資産に対して用いるのが適当であるか説明しなさい。
- (2) 先入先出法について、①意義を述べるとともに、物価上昇時を仮定した場合の②長所と③短所について述べなさい。
- (3) 後入先出法について、①意義を述べるとともに、物価上昇時を仮定した場合の②長所と③短所について述べなさい。

問2. 財務諸表の注記に関する、次の各問に答えなさい。

- (1) 継続企業の前提に関する注記とはどのようなものか、説明しなさい。
- (2) 重要な後発事象の注記とはどのようなものか、説明しなさい。

【管理会計領域】

問3. 「原価計算基準」にもとづき、次の各問に答えなさい。

- (1) 原価計算の目的について述べなさい。
- (2) 製造原価についての「形態別分類」と「製品との関連における分類」について述べなさい。
- (3) 標準原価計算制度の意義と目的について述べなさい(「原価計算基準」のみならず、原価計算・管理実務を踏まえたうえで回答してもよい)。

問4. 設備投資意思決定に関連して、次の各問に答えなさい。

- (1) 回収期間法および正味現在価値法について、比較しながら述べなさい。
- (2) 回収期間法において貨幣の時間価値を考慮するためにはどのようにすればよい。具体的な計算例や計算式を用いて述べなさい。

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
商学	商学	博士前期

科目名
商業学

一般入試・外国人留学生入試(秋季)

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

4問中2問を選択して解答しなさい。解答する問題ごとに別々の解答用紙を使用し、問題番号欄に解答する問題番号を明記すること。

1. 小売業者のチェーンストア・オペレーションに関する以下の設問に答えなさい。
 - 1-1. チェーンストア・オペレーションとはどのような経営方式であるか説明しなさい。
 - 1-2. チェーンストア・オペレーションの店舗運営方式の代表的なものとして、直営店方式とフランチャイズ店方式がある。両者の概要を説明しなさい。
 - 1-3. チェーン本部の立場から見た直営店方式とフランチャイズ店方式のメリットとデメリットについて、インセンティブ付与とリスクシェアリングの観点から説明しなさい。
 - 1-4. 直営店方式とフランチャイズ店方式を採用している企業をそれぞれ1つ挙げて、その企業のマーケティング戦略との整合性を説明しなさい。

2. 製造業者はその製品の流通に際して、卸売業者を垂直統合することがある。このことについて、以下の設問に答えなさい。
 - 2-1. 卸売業者とはどのような流通業者であるか簡潔に定義しなさい。
 - 2-2. 製造業者が卸売業者を利用する理由を説明しなさい。
 - 2-3. Williamson (1975, 1985) の取引費用理論を説明しなさい。どのような現象をどのような変数で説明する理論であるかを明記すること。
 - 2-4. 上記の取引費用理論を適用して、製造業者が卸売業者を垂直統合するメカニズムについて説明しなさい。なお、製造業者と卸売業者固有の活動について必ず言及すること。

3. 野球場やサッカー場などのスポーツスタジアムにおける価格戦略について、以下の設問に答えなさい。
 - 3-1. 「需要の価格弾力性」の公式を示しなさい。
 - 3-2. スポーツスタジアムでは基本的に飲料の値引き販売が行われない。このことを「需要の価格弾力性」と「代替的な製品・サービスの有無」との関係に注目して説明しなさい。
 - 3-3. スポーツスタジアムでは、消費者のセグメントごとに入場料金を変えることがある。このことを「第三種価格差別（セグメント別プライシング）」の概念を用いて説明しなさい。

4. 企業が国境を越えて調達・生産・販売を行う際には、当該企業における親会社 (headquarter) と現地子会社 (subsidiary) との関係と、商品（部品・原材料や中間品、完成品）の売り手と買い手を仲介する商社や輸入業者などの役割を考慮する必要がある。これらに関して、以下の設問に答えなさい。
 - 4-1. 間接輸出と直接輸出の違いについて説明しなさい。
 - 4-2. 間接輸出と直接輸出、それぞれのメリットとデメリットについて説明しなさい。
 - 4-3. 企業が、輸出から対外直接投資 (foreign direct investment) へ移行する契機について、考えられる諸要因を説明しなさい。

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
商学	商学	博士前期

科目名
商業学

一般入学試験(春季)

※問題用紙は3枚、解答用紙は2枚です。

4問中2問を選択して解答しなさい。解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、問題番号欄に解答する問題番号を明記すること。

問1. ある企業が、既存の広告動画1を改善して、新しい広告動画2を作成した。この企業は広告動画2がより効果的であるかを調べるために、400人の消費者を2タイプの動画に対してランダム割当てして実験を行った。そして、広告される製品への態度を従属変数、広告動画のタイプを独立変数として、繰り返しのないt検定を行った。実験の結果、得られたデータは以下の通りである。広告動画1を視聴したグループを統制群のグループ1、広告動画2を視聴したグループを実験群のグループ2とする。以下の5つの問題に答えなさい。

グループ1の態度の平均値： $\bar{x}_1 = 4$

グループ2の態度の平均値： $\bar{x}_2 = 5$

グループ1のサンプルサイズ： $n_1 = 200$

グループ2のサンプルサイズ： $n_2 = 200$

グループ1の態度の標準偏差： $s_1 = 2$

グループ2の態度の標準偏差： $s_2 = 2$

問1-1. 広告動画に対する態度は以下のように測定した。この5点尺度のスケールの名称を答えなさい。

私はこの広告動画が好きである

1. 全く同意できない
2. 同意できない
3. どちらともいえない
4. 同意できる
5. 非常に同意できる

問1-2. 繰り返しのないt検定とはどのような分析であるか2行以内で説明しなさい。

問1-3. 実験を行う際には、なぜランダム割当てを行う必要があるのか説明しなさい。

問1-4. このt検定の帰無仮説(H_0)と対立仮説(H_1)をそれぞれ述べなさい。

問1-5. 有意水準5%で両側検定のt検定を行って、広告動画1と広告動画2に差があるか検定しなさい。与えられた情報を用いて、統計学的な論拠を示して答えること。

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
商学	商学	博士前期

科目名
商業学

一般入学試験(春季)

t 値の公式

$$t = \frac{(\bar{x}_1 - \bar{x}_2)}{s * \sqrt{\frac{1}{n_1} + \frac{1}{n_2}}} \sim t_{(n_1+n_2-2)}$$

上記の t 値の算出に用いる分散の公式

$$s^2 = \frac{(n_1 - 1)s_1^2 + (n_2 - 1)s_2^2}{n_1 + n_2 - 2}$$

t分布表					
自由度	有意水準				
	両側	0.1	0.05	0.02	0.01
	片側	0.05	0.25	0.01	0.005
1		6.31	12.71	31.82	63.66
2		2.92	4.30	6.96	9.92
3		2.35	3.18	4.54	5.84
4		2.13	2.78	3.75	4.60
5		2.02	2.57	3.36	4.03
6		1.94	2.45	3.14	3.71
7		1.89	2.36	3.00	3.50
8		1.86	2.31	2.90	3.36
9		1.83	2.26	2.82	3.25
10		1.81	2.23	2.76	3.17
11		1.80	2.20	2.72	3.11
12		1.78	2.18	2.68	3.05
13		1.77	2.16	2.65	3.01
14		1.76	2.14	2.62	2.98
15		1.75	2.13	2.60	2.95
16		1.75	2.12	2.58	2.92
17		1.74	2.11	2.57	2.90
18		1.73	2.10	2.55	2.88
19		1.73	2.09	2.54	2.86
20		1.72	2.09	2.53	2.85
21		1.72	2.08	2.52	2.83
22		1.72	2.07	2.51	2.82
23		1.71	2.07	2.50	2.81
24		1.71	2.06	2.49	2.80
25		1.71	2.06	2.49	2.79
26		1.71	2.06	2.48	2.78
27		1.70	2.05	2.47	2.77
28		1.70	2.05	2.47	2.76
29		1.70	2.05	2.46	2.76
30		1.70	2.04	2.46	2.75
40		1.68	2.02	2.42	2.70
60		1.67	2.00	2.39	2.66
120		1.66	1.98	2.36	2.62
240		1.65	1.97	2.34	2.60
∞		1.64	1.96	2.33	2.58

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程	科目名
商学	商学	博士前期	商業学

一般入学試験(春季)

問 2. 以下の 3 つの問題に答えなさい。

問 2-1. セオドア・レビットの提唱したマーケティング・マイオピアについて説明しなさい。理論的な説明だけでなく、具体例も示すこと。

問 2-2. クレイトン・クリステンセンのジョブ理論 (jobs to be done) について、コトラー流のセグメンテーションとの違いを明示した上で説明しなさい。

問 2-3. 製品差別化について、垂直的差別化と水平的差別化の違いを製品属性に基づいて説明しなさい。

問 3. 製品開発における調査方法の 1 つ「リード・ユーザー法」について、以下の設問に答えなさい。

問 3-1. リード・ユーザーとは何かを示しなさい。

問 3-2. リード・ユーザー法を用いた製品開発は、一般的な対消費者インタビュー調査 (1 対 1 のインタビュー、フォーカスグループ・インタビューなど) やアンケート調査と比べてどのような異なる特徴を持つかを説明しなさい。

問 3-3. リード・ユーザー法を用いた製品開発では、他の調査方法を用いる場合と比べていかなる課題が生じ得るのかを説明しなさい。

問 4. 企業がその製品を国境を越えて販売しようとする際、ターゲットとする国・地域で外部の調査会社と契約してアンケート調査を行うことがあるものの、その調査結果は当該国・地域市場の実態からかけ離れていることがしばしばある。このような課題を克服するため、ユニリーバや SC ジョンソンといった欧米企業やサムスンや LG などの韓国企業は「地域専門家制度」を以前から導入しており、また近年はパナソニックやアサヒビールをはじめとする日本企業もそれに追随している。これについて以下の設問に答えなさい。

問 4-1. 地域専門家制度とは何かを説明しなさい。

問 4-2. 地域専門家制度は、とくに開発途上国市場の深耕において功を奏すると考えられているが、それはなぜかを説明しなさい。その際、「市場調査」「親会社の意思決定」「現地子会社の意思決定」「エスノグラフィー」の 4 つを必ず用いること。

問 4-3. 地域専門家制度の有効性を説明する理論の 1 つである、クレイトン・クリステンセンの「イノベーションのジレンマ (The Innovator's Dilemma)」および「破壊的イノベーション (Disruptive Innovation)」について説明しなさい。図を用いてもよい。

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程	科目名
商学	商学	博士前期	経済学B(近代経済学)

一般入学試験(春季)

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

問1と問2の両方に解答してください。解答する問題ごとに別の解答用紙を使用し、解答する問題番号を解答の冒頭に記入してください。

問1(1) 次の用語について、それぞれ30字程度で説明してください。

「市場の失敗」

「厚生経済学の基本定理」

「囚人のディレンマ」

(2) 2つの財 x_1, x_2 ($x_1 \geq 0, x_2 \geq 0$) を需要する消費者の効用関数が $u(x_1, x_2) = 6x_1^{\frac{1}{2}}x_2^{\frac{1}{3}}$ であるとします。2つの財の価格を、それぞれ p_1, p_2 とし、消費者の所得を m としたとき、消費者の効用最大化問題を解いて、需要関数 $x_1 = D_1(p_1, p_2, m)$, $x_2 = D_2(p_1, p_2, m)$, および間接効用関数 $u = U(p_1, p_2, m)$ をそれぞれ求めてください。

(3) 2つの財 y_1, y_2 を生産する企業の生産集合が $Y = \{(y_1, y_2) \mid y_1 < 0, y_2 \leq \log(-y_1)\}$ であるとします。2つの財の価格を、それぞれ p_1, p_2 としたとき、企業の利潤最大化問題を解いて、供給関数 $y_1 = S_1(p_1, p_2)$, $y_2 = S_2(p_1, p_2)$, および利潤関数 $\Pi(p_1, p_2)$ をそれぞれ求めてください。

問2(1) 「GDPの三面等価」について120字程度で説明してください。

(2) 「等価定理」を、その定理の前提に言及しつつ200字程度で説明してください。ただし、次の語句を含めてください。「公債発行」「増税」

(3) 「ルーカス批判」を200字程度で説明してください。ただし、次の語句を含めてください。「期待」「ミクロ的基礎づけ」「政策」

(4) 「自然失業率」を200字程度で説明してください。ただし、次の語句を含めてください。「フィリップス曲線」

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程	科目名
商学	商学	博士前期	金融論

一般入試・外国人留学生入試(秋季)

※問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。

次の4問から2問を選択し、問題ごとに別々の解答用紙に解答しなさい。
 なお、問題番号欄に解答する番号を明記した上で解答すること。

問題1 以下の各問いに答えなさい。

- (1) 証券会社の4つの基幹業務を説明しなさい。
- (2) 日本の証券会社の4つの基幹業務からの収益構成が、1990年代後半以降どのように変化したかを、金融規制の変化による影響を踏まえて説明しなさい。
- (3) 日本の証券会社が近年手がけている4つの基幹業務以外の新しい業務の例を1つ挙げ、それについて説明しなさい。

問題2 以下の各問いに答えなさい。

- (1) 市場が効率的であるとはどういうことか説明しなさい。説明の際には、Famaが提唱した、ウィーク型、セミストロング型、ストロング型の違いを明確にすること。
- (2) 株価指数連動型インデックスファンドに投資をする意味について、市場の効率性に注目して説明しなさい。
- (3) 市場のアノマリーとは何か説明しなさい。またこの市場のアノマリーの例を1つ挙げ、それについて説明しなさい。

問題3 以下の各問いに答えなさい。

- (1) スチュワードシップコードとは何か説明しなさい。またスチュワードシップ責任について説明しなさい。
- (2) 日本版スチュワードシップコードについて、策定された背景にある日本の金融環境の変化について説明しなさい。
- (3) ESG投資とはどのようなものであるか説明しなさい。
- (4) ESG投資に対して、どのような批判があるか具体的に説明しなさい。

問題4 以下の各問いに答えなさい。

- (1) 日本の金融政策の目標・目的を2つあげ、それぞれ説明しなさい。説明の際には、「消費者物価指数」、「GDPギャップ」を用い、これらの意味も説明しなさい。
- (2) テイラー・ルールとは何かを説明しなさい。
- (3) テイラー・ルールを1990年代後半以降の日本経済に適用するうえでの問題点を説明しなさい。また、1990年代後半以降に日本銀行が行った金融緩和政策を説明しなさい。説明の際には、「フォワードガイダンス」、「量的緩和政策」、「マイナス金利」を用い、これらの意味も説明しなさい。

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程	科目名
商学	商学	博士後期	英語

外国人留学生入学試験(春季)

辞書使用可

※問題用紙は4枚、解答用紙は2枚です。

問題Ⅰ 次の英文を和訳しなさい。

以下、本文22行(非公開)

出典) Jonathan Berk and Peter DeMarzo, Corporate Finance, Third Edition, 2014, Pearson Education, P.10-11.

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程	科目名
商学	商学	博士後期	英語

外国人留学生入学試験(春季)

辞書使用可

問題Ⅱ. 次の英文を読み、下記の設問に答えなさい。

以下、本文60行(非公開)

出典) Semuels, A. (2023, September 6). *Burned out at work? Find someone to split your job 50-50 with you.* TIME. <https://time.com/6311034/50-50-job-sharing-burn-out/>を一部改変。

問 1. 次の説明のうち、本文の内容として最も正しくないものはどれか。記号で答えなさい。

(5 点)

- A ジョブシェアリングは父親が家族の生活により深く関わる手助けとなる。
- B 米国企業の約 5 割がジョブシェアリングを提供しているといわれている。
- C パンデミックは多くの雇用主に柔軟性の向上を迫った。
- D オーストラリアでは、パンデミック関連のロックダウン中に、「ジョブシェア」や「ワークシェア」という用語を使った求人広告の数が急増した。
- E ジョブシェアリングはまだ稀である。

問 2. 傍線部 (1) を和訳しなさい。(20 点)

問 3. 傍線部 (2) を和訳しなさい。(20 点)

問 4. 傍線部 (3) を和訳しなさい。(20 点)

問 5. 傍線部 (4) を和訳しなさい。(20 点)

問 6. 本文の内容を踏まえて、ジョブシェアリングがなかなか普及しない理由を 2 つ以上、日本語で説明しなさい。(15 点)

2025年度 大学院入学試験問題

研究科	専攻	課程
商学	商学	博士後期

科目名
小論文

社会人特別入学試験(春季)

※問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。

次の2問から1問を選択して解答しなさい。解答する問題の番号を解答用紙の枠内に記入すること。

問題Ⅰ.

社会科学と自然科学のあいだには、実験・分析手法に本質的な違いが存在するが、科学的・分析的思考を重視する点では共通しているとされる。社会科学での実験・分析が自然科学での実験・分析とどのように異なるかについて自己の見解を述べなさい。

また、科学本来の役割が、経験的世界の問題を解決することであり、「科学的推論」を行うことにあるとすると、そもそも「科学的推論」とはどのようなものであるかを説明した上で、「科学的推論」の「もっともらしさ」はどのようにすれば高められるかについて述べなさい。

問題Ⅱ.

近年、ランサムウェアと呼ばれる身代金要求型のコンピュータ・ウィルスによるサイバー攻撃の被害報告が後を絶たない。「ランサムウェア攻撃」は企業に様々な被害を与えており、例えば、ある上場企業では財務諸表の公表が法定提出期限までに間に合わなかったり、システム障害の復旧に多くの時間と費用がかかったりと、企業経営の大きなリスクとなっている。

そこで、「ランサムウェア攻撃」とはどのようなコンピュータ・ウィルスでどのような被害を企業に与えるのかを説明したうえで、企業経営上のサイバーリスクに対する対策や課題について述べなさい。また、その攻撃を受けた企業がハッカーの身代金要求に応じるべきか否かについて自己の見解を述べなさい。